

『P+ARCHIVE (ピープラス・アーカイブ)』は、「地域・社会と関わるアート活動」のアーカイブ・センターです。2010年より東京文化発信プロジェクト「東京アートポイント計画」との共催事業としてその活動を開始し、国内・国外におけるアート・プロジェクトやパブリックアートに関する書籍・カタログ・資料などを収集・整理・公開しています。

21世紀に入り、国内において地域・社会と関わるアート活動が活発におこなわれていますが、これらの活動に関する資料や記録物は散逸しやすく、十分な活用がなされていないとはいえません。完成したアート作品のみならず、その創造の背景やプロセスなどを伝える包括的な資料の重要性が認識されてきています。

わたしたちの社会と関わりを強く持つこういったアート活動は、社会の文化環境をより多様で豊かなものへ変えていく社会的意義を持ち、その知の蓄積は社会全体の文化資源となっていきます。

『P+ARCHIVE』は、これらの活動を記録・保存し、公開するあり方を考え、その課題に取り組むために、関心を共にするさまざまな人びとが学び、話し合う場となるプラットフォームづくりを目指していきたくて考えています。

● 東京文化発信プロジェクト「東京アートポイント計画」

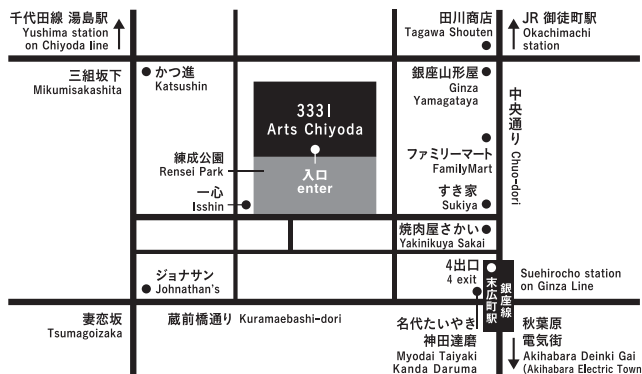
東京の様々な人・まち・活動をアートで結ぶことで、東京の多様な魅力を地域・市民の参画により創造・発信することを目指し、「東京文化発信プロジェクト」の一環として東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団が展開している事業です。  
<http://www.bh-project.jp/artpoint>

● 特定非営利活動法人アート・アンド・ソサイエティ研究センター

都市や地域における芸術文化活動並びにパブリックアートの情報発信及び調査研究・実施活動に関する事業を行い、都市や地域の文化的発展と市民の文化環境の向上に寄与することを目的として活動する非営利芸術団体です。  
<http://www.art-society.com>

**開館日** 水曜、木曜  
**開館時間** 13:00～18:00  
**休館日** 年末年始、祝日  
 (臨時休館する場合があります。ウェブサイトでご確認ください。)  
**アクセス** 東京文化発信プロジェクトROOM302  
 〒101-0021  
 東京都千代田区外神田6丁目11-14 (3331 Arts Chiyoda)

東京メトロ銀座線末広町駅4番出口より徒歩1分  
 東京メトロ千代田線湯島駅6番出口より徒歩3分  
 都営大江戸線上野御徒町駅A1番出口より徒歩6分  
 JR御徒町駅南口より徒歩7分  
 JR秋葉原駅電気街口より徒歩8分



お問合せ、資料の寄贈をお考えの方は、  
[info@art-society.com](mailto:info@art-society.com)までご連絡ください。



主催: 東京都、東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)、  
 特定非営利活動法人アート・アンド・ソサイエティ研究センター

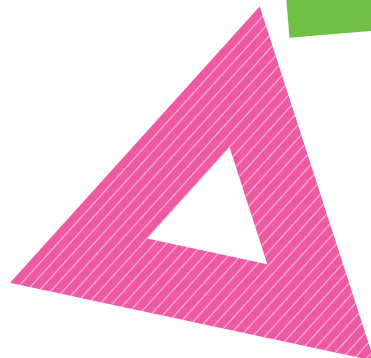


東京文化発信  
プロジェクト

「地域・社会に関わるアート」のアーカイブ

# P+Archive Center

ピープラス アーカイブセンター



ピープラス アーカイブ

<http://www.art-society.com/parchive/>

## アーカイブの資料について

### 1 地域・社会に関わるアート・プロジェクト およびパブリックアートに関する資料

地域・社会に関わるアート・プロジェクトの記録集、報告書、カタログ、リーフレット、書籍やパブリックアートに関する資料、書籍を中心に収集しています。

### 2 近年の日本の資料（1980年代～現在）

#### 1) パブリックアート研究所コレクション

日本全国の自治体および民間組織が実施したパブリックアートの貴重な資料（1980年代～90年代まで）を収蔵しています。（「パブリックアート研究所」の杉村荘吉氏より寄贈）

#### 2) 1990年代初期のアート・プロジェクトに関する資料

国内のアート・プロジェクトの先駆けとして1990年代初頭～中頃に開催されたプロジェクトに関する資料を整理分類し収蔵しています。  
・東京青山エリアでの『Morphe』展（1995-2000年）等

### 3 近年の海外の資料（1990年代～現代）

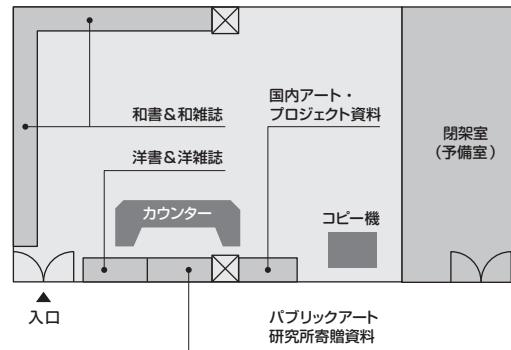
地域・社会に関わるアート・プロジェクトやパブリックアートに関する海外書籍や資料を収集しています。

## 施設の利用について

閲覧  
無料

- 開館日** 水曜、木曜  
**開館時間** 13:00～18:00  
**休館日** 年末年始、祝日  
 （臨時休館する場合があります。ウェブサイトでご確認ください。）
- 施設の利用方法**
- ・収蔵資料はどなたでも自由に閲覧できます。
  - ・コンピューターでの資料検索が可能です。
  - ・詳細内容はアーカイブ・スタッフがご案内しますので、お気軽にお声をおかけください。
- 注意事項**
- ・閲覧は静かに行なってください。
  - ・飲食等のご遠慮ください。
  - ・許可なく資料を写真撮影することは禁止します。
- コピー機の利用方法**
- ・書籍・資料コピーの際には、アーカイブ・スタッフに申し出てください。
  - ・氏名・転写資料名・コピー枚数を所定用紙に記入してください。
- 【コピー料金】**  
 白黒：10円／枚、カラー：40円／枚（B5、A4、B4、A3共）

### 資料の保管場所



<スリービー>

「スリービー」はP+ARCHIVEを案内するDogアーティスト。難解なアーカイブの世界を案内する任務をにない、P+ARCHIVEのウェブサイトの中で日々活躍します。P+ARCHIVEには、3つの<P>の意味：<Public>、<Process>、<People>が込められています。

### ● 地域・社会に関わるアートのアーカイブを構築するための人材育成

アーカイブの社会的意義や課題などを検討し、先行事例の調査、資料収集方法、文書管理の基礎的なスキルなどを学び、アート・アーカイブの実践に関わる人びとと共有する連続レクチャーやワークショップを開催しています。

#### 2010年度 連続レクチャー 「アート活動としてのアーカイブ」

アーカイブの社会的意義や活動事例、課題などを検討し、先行事例の調査、資料収集方法、運営方法について、5回の連続レクチャーと研究会を通じて、現行アート・プロジェクトのアーカイブ化を試みました。



#### 2011年度 レクチャー&ワークショップ 「実践 アート・アーカイビング」

アート・アーカイブのあり方を理解するレクチャーや、文書管理の基礎を学ぶ連続ワークショップを通じ、実践的な人材を育成します。効率的なアーカイビング方法を構築し、共有してゆくことを目指します。



### ● アート・アーカイブ ガイドブックの作成

現行のアート・プロジェクトを効率よくアーカイブする具体的な手法について検討し、「アート・アーカイブガイドブック」(β版)を2010年度に発行しました。今後、その内容を精査・修正し、完成版の作成を目指します。

[www.art-society.com/parchive/new/guidebook\\_beta.html](http://www.art-society.com/parchive/new/guidebook_beta.html)

### ● デジタルアーカイブ

収蔵資料や国内外の「地域、社会に関わるアート」に関するプロジェクトの基礎データを収集し、ウェブ上に公開しています。プロジェクト名、作品タイトル名、アーティスト名などで検索可能なデータシステムです。

[www.art-society.com/parchive/](http://www.art-society.com/parchive/)

### ● アート・アーカイビングの実践

国内のアート・プロジェクトの先駆的事例として1990年代初頭から開始されたプロジェクトを中心に、貴重な資料を整理・分類し公開する活動を展開します。2011年度には、「Morphe展」(1995-2000)の資料を整理し、展覧会を開催しました。



## 国内外における地域・社会と関わるアート活動に関する資料や記録の収集。

- 国内、海外とも1980年代以降のプロジェクトを中心に収集する。
- アート表現に関わる建築、ランドスケープ、プロダクトデザインなどの分野を含める。
- 音楽、ダンス、演劇などの芸術分野は対象とせず、美術分野を中心とする。
- 個人作家の資料は収集対象に含めない。
- 可能な限り貴重性の高い資料を収集する。
- 公的機関、民間芸術団体、企業などからの寄贈を募る。